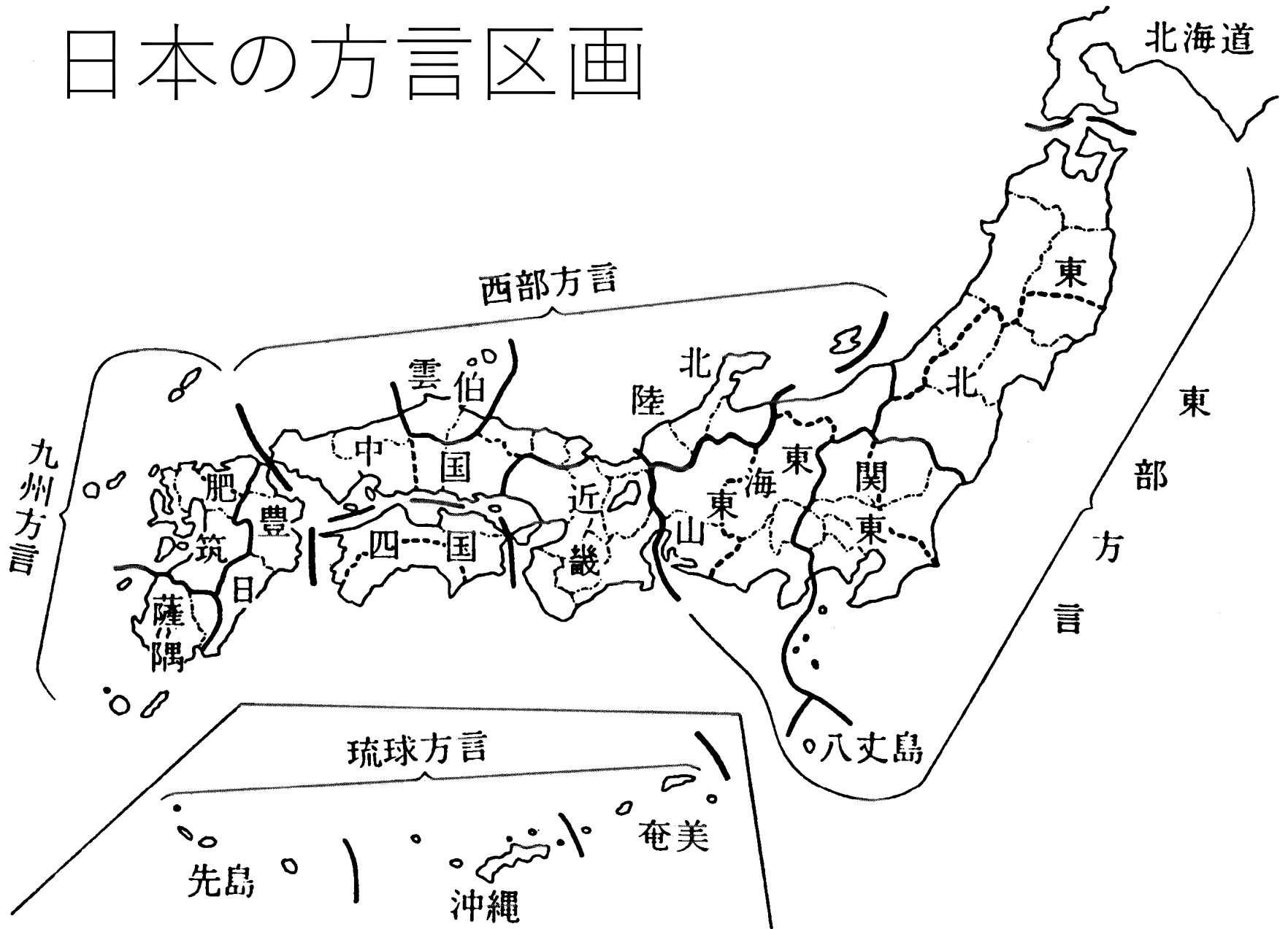


日本の方言2

西部方言

日本の方言区画



西部方言

- 母音が強く，子音が弱い
→母音の無声化が少ない
- アクセント：京都タイプ（核の有無と位置＋式（トーン）で決定される）が多い
高起式 魚 サカナ 命 イ'ノチ 表 オモ'テ
低起式 兎 ウサ「ギ 卵 タ「マ'ゴ
- 動詞否定辞：ン（東部方言はナイ）
- 断定辞：ヤ，ジャ（東部方言はダ）
- ウ音便：タコーナル（高くなる），コータ（買った）
（東部方言は非音便）
- 存在動詞：オル（東部方言はイル）
- 北陸方言／近畿方言／中国方言／雲伯方言／四国方言

北陸方言

- し = す, ち = つ, じ = ず (東北方言に類似)
- ゆすりイントネーション
- 尊敬語の発達
五箇山 3段階
最上 - シャル 飲マツシャル
上 - ヤル 飲ミヤル
中 飲ム

近畿方言

- 西部方言の代表
- 動詞否定辞：ヘン， ヒン
- 断定辞：ヤ

中国方言

- 動詞否定辞：ン
- 断定辞：ジャ
ンもジャも近畿の古い形
- アスペクト
継続相（進行相） / 結果相
散リオル・散リヨル / 散ットル・散ッチヨル
動詞＋オル / 動詞＋テ＋オル

雲伯方言

- 出雲，伯耆
- r の脱落：「起きる」起キー < okiu < okiru
- し = す，ち = つ，じ = ず
一つ仮名（東北方言，北陸方言に類似）
- 断定辞：ダ
- 西部方言の中で東部的

じ	ぢ
ず	づ

一つ仮名

四国方言

- 複雑なアクセント
3種類以上の式（トーン）を持つ方言がある。
- 四つ仮名の区別（高知）
ず（鈴すず）／づ（水みづ）
じ（富士ふじ）／ぢ（藤ふぢ）



四つ仮名

- コソ～已然形 係り結び（徳島）
色コソ黒ケレ，気は優しい（色は黒いが，気持ちは優しい）
口デコソ言エレ，出来ン（口では言えるが，実際には出来ない）